

新型コロナウイルス感染症
対策検討協議会
最終報告書

令和4年（2022年）12月1日

◎目次

- | | |
|----------------------------|----|
| 1 はじめに | …1 |
| 2 コロナ感染症に係る市の対策に対する確認及び要望 | …3 |
| 3 コロナ感染症に係る本市議会における対応の検討 | …3 |
| 4 新たな感染症流行に備えるための本協議会からの提言 | …4 |
| 5 本協議会の活動総括と今後のコロナに関する検討 | …6 |
| 【別表】 新型コロナウイルス感染症に関する対応経緯 | |

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ感染症）の対策に関して、当初、本市議会では議会運営委員会における協議を中心に感染拡大防止策に取り組んでいたが、緊急事態宣言の発出、一斉臨時休校の延長、経済の落ち込みなど市民生活に重大な影響が生じている状況を踏まえ、時宜を捉えた課題を協議するため、令和2年5月7日、「新型コロナウイルス感染症対策検討協議会」を設置することを決定した。

コロナ感染症の拡大という難局に、行政、議会が一丸となって立ち向かうべく、コロナ感染症に係る市の対策については、本協議会において確認及び要望事項を集約し、また市議会の対応について検討を行った。

また、コロナ感染症によって大きく影響を受けた事業者や団体から直接意見を聴取し、さらなる感染拡大に備えそれまで実施してきた市の対策について検証を行った。

さらにその検証結果を踏まえ、経過報告書を取りまとめ、令和2年11月18日、市長に対しコロナ感染症対策に関する提言を行った。

その後もほぼ全国民を対象とするワクチン接種というかつてない事業や、第5波・第6波・第7波と続く感染拡大への対応という非常事態に臨む行政に対し、本協議会として意見を取りまとめ、時機をとらえて確認、要望を行い、市民の不安払しょくや行政サービスの維持支援に努めた。

令和4年12月現在、社会はウィズコロナの新しい生活様式を築きつつある。本協議会においても、これまでのコロナ感染症に係る本協議会の検討について総括し、今後起こりうる感染症の蔓延や一丸となって立ち向かわねばならない難局に備えて提言を行い、最終報告とするものである。

◎新型コロナウイルス感染症対策検討協議会委員

(令和2年5月7日～令和3年5月17日)

委員長	大野 忠之
副委員長	永井 真人
委員	西郷 宗範
委員	小幡 沙央里
委員	二見 英一
委員	大村 洋子
オブザーバー	小林 伸行

(令和3年5月17日～令和4年12月1日現在)

委員長	西郷 宗範
副委員長	永井 真人
委員	田辺 昭人
委員	小幡 沙央里
委員	二見 英一
委員	大村 洋子
オブザーバー	小林 伸行

2 コロナ感染症に係る市の対策に対する確認及び要望

経過報告を取りまとめた令和2年11月以降も、医療・福祉・教育・子ども・経済等、市民生活に関わるあらゆる分野にわたって市が行ったコロナ感染症対策について、180項目以上を協議した。そのうち119項目について、疑問点・問題点を明らかにすべく、協議会として執行部に詳細を確認し、改善が必要と思われる点については改めて要望を行った。

※「確認及び要望事項一覧表」は別添資料1を参照

3 コロナ感染症に係る本市議会における対応の検討

経過報告を取りまとめた令和2年11月以降も、コロナ感染症に係る本市議会の対応について協議を行った。

本市議会においては、コロナ感染症が取り沙汰され始めた令和2年6月以降、3密回避を目的として、本会議や委員会に出席する理事者を限定したり、また部局別審査、傍聴定員引き下げなどの対策をとってきた。

これらは臨時的、特例的な対応であったものの、感染拡大の波が繰り返し到来し、収束が見通せないことにより、2年以上にわたり継続することとなった。

そこで、令和4年8月、ウィズコロナを見据えた効果的な議会運営について総合的に検討する必要性を考慮し、議会運営委員会に検討を依頼することと決定した。また、あわせてコロナ禍における対応の検討についても、議会運営委員会に検討を依頼した。

4 新たな感染症流行に備えるための本協議会からの提言

これまでの協議会における議論を踏まえて、以下のとおり提言する。

(1) ワクチン接種事業について

令和3年5月から本格的に始まったワクチン接種事業は、自治体間での対応のばらつきや予約システムの障害などから、大きな混乱を生じた。

当初、本市においては公平性を確保するために、接種券を対象年齢層へ一括送付し、一斉に予約受付開始したが、予約が殺到しシステムダウンの一因となった。

その後、予約システムの改修や、接種予約開始時期の見直し等の工夫を重ね、現在は順調に事業が進められている。

より円滑な事業執行のためには、従来の手法にこだわることなく、柔軟に検討・対応することが必要である。

市民の大半が対象者となる事業は、行政にとっても経験が少なく、試行錯誤の連続で苦労は大きかったと思うが、この経験を踏まえ、今後同様の大規模な事業を執行するときに備えて、ノウハウを蓄積していただきたい。

(2) 感染拡大時の自宅療養にかかるケアについて

感染者数の急増に伴い、本市においても軽症者、無症状者の自宅療養が増加した。自宅療養者の健康観察は県の所管業務ではあるが、本市も独自に食料配布サービスを行うなど対応をしてきた。

今後も県と本市との業務分担のはざままで、ケアが必要な市民が零れ落ちることのないように、引き続ききめ細やかな対応を続けていただきたい。

また、医師会、薬剤師会等とも引き続き密に連携し、コロナ禍に限らず、オンライン診療や処方薬配達サービスなどの推進に努めていただきたい。

(3) 医療機関等との連携強化について

デルタ株が流行し、重症者が多く発生した第5波においては、医療提供体制の神奈川モデルや、病院間の連携によって効率的に病床を確保することができた。日頃の顔の見える関係づくりが医療ひっ迫を防いだものとする。

その後の爆発的な感染拡大も乗り越えたノウハウを蓄積し、また引き続き医師会や医療機関等との良好・緊密な関係性を維持することで、非常時の医療体制の確保に役立てていただきたい。

(4) ICTの活用について

感染拡大防止への最大の対策は3密（密集、密接、密閉）回避であり、オンラインによる活動が広く推奨された。行政の現場においても端末、通信環境が整備され、オンライン活用が飛躍的に進んだ。

また市立小・中・養護・ろう学校においては、GIGAスクール構想のもとコロナ禍以前からWi-Fi環境の整備は進められていたが、令和2年3月の一斉臨時休校を機に、一人一台端末の整備が全国的に加速し、本市においても令和3年11月、小・中学生の一人一台端末配備が完了した。

コロナ感染拡大がきっかけではあるものの、ICT化、オンラインの環境整備が整ったことを無駄にすることなく、ウィズコロナの時代に様々な場面で活用の幅を広げていくことができるように、行政、教育現場ともにさらに工夫をしていただきたい。

(5) 部局間の連携について

コロナ感染対策にかかる業務は一つの部局で完結するものばかりではない。例えば、部局を越えた職員の応援体制をはじめとして、緊急事態宣言下における放課後児童クラブへの校庭開放、市役所本庁舎や公園における飲食店のテイクアウト販売支援など、部局間の連携、協力によって実現したものも多い。

今後も前例のないことに躊躇することなく、市民の困りごとや要望に迅速に対応できるよう、柔軟に部局間の連携を行っていただきたい。またそのために、意思疎通の図りやすい、風通しの良い組織体制を構築していただきたい。

5 本協議会の活動総括と今後のコロナに関する検討

本協議会は、令和2年5月の設置以来2年7か月の間、39回にわたり開催した。

本協議会設置の成果として、市議会としての意見集約を図った上で、コロナ感染症による様々な問題に市議会が積極的に関与した点が挙げられる。

まず、市のコロナ感染症対策に対する確認事項、要望事項を本協議会に集約することで、議員それぞれが受け止める市民の多様な声や課題に対する共通認識を持つことができた。

また、市に対して確認、要望を行うに当たっては、必要に応じて委員間協議を行い、意見を取りまとめた上で各部局に対して投げかけてきた。

いずれも、未知の感染症の世界的蔓延という未曾有の事態において、市民の命と健康を守り、不安を払しょくし、市政が滞りなく運営されるために市議会として何ができるか検討し、実践に移してきたところである。

令和4年12月現在、感染拡大の波を幾度にもわたって乗り越え、コロナ感染症への理解、対策についても経験を積み、持続的、効果的な行政運営がなされるようになってきたことを踏まえ、本協議会は本報告書のとりまとめをもって休会し、令和5年5月1日の現議員任期をもって解散することとする。

しかし現在もコロナ感染症は完全に収束したとは言えず、今後もウイルスは変異を繰り返し、さらに感染拡大の波が来る可能性は十分にある。

本市執行部におかれては、令和2年11月の本協議会からの提言と、本報告書にてとりまとめた提言を踏まえ、今後の感染症対策にあたっていただきたい。

なお、本協議会の休会に当たり、これまで本協議会において検討を行ってきたコロナ感染症に対する市の対策については、本会議及び委員会における質疑・質問等を活用し、今後も議会としてのチェック機能を十分に果たしていくこととする。

新型コロナウイルス感染症に関する対応経過

別表

年月	全国状況・本市状況	新型コロナウイルス感染症対策検討協議会（コロナ協議会）	市議会	議会日程
R1年12月	・中国武漢市で肺炎患者確認			
R2年1月	・1月16日 国内で初の感染確認			
R2年2月	・2月3日 ダイヤモンド・プリンセス号横浜港に入港 ○2月7日 帰国者・接触者相談センター及び帰国者・接触者外来（3病院）を設置 ○2月17日 庁内に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置 ・2月13日 緊急対応策決定 ・2月27日 内閣総理大臣が全国の学校に臨時休校要請		・2月25日 傍聴自粛要請決定（6月末まで）	3月定例議会
R2年3月	○3月3日 市立学校一斉休校開始（5月31日まで） ・3月10日 緊急対応策第2弾決定 ○3月15日 市内で初の感染者発生 ・3月24日 東京オリンピック・パラリンピック延期決定 ・G-MIS稼働開始	緊急事態宣言 (R2年4月7日～5月25日)	・3月2日 一斉臨時休校に伴う対応に関して議長から市長へ申し入れ（3月6日回答受領） ・3月4日 3月議会日程短縮、3月31日予定の高校生・大学生との議会報告会中止決定 ・3月18日 議員コロナ感染時の報道発表取扱い決定 コロナ緊急経済対策に関する意見書を全会一致で可決、関係機関へ提出	
R2年4月	・4月7日 7都道府県対象に5月6日まで緊急事態宣言 ○4月14日 市役所職員の交代勤務開始（5月26日まで） ・4月16日 緊急事態宣言を全国へ拡大 ○4月24日 横須賀PCRセンター開設 ・4月30日 補正予算可決・成立（定額給付金など）		第1波	・4月9日 緊急事態宣言を受けて議員登庁自粛、市議会ギャラリー休止決定（6月末まで） ・4月23日 委員会室、議場感染対策開始（換気、手指消毒、アクリル板等）令和2年度議会報告会の7月開催見送り ・4月23日・30日 コロナ協議会設置提案・協議
R2年5月	・5月4日 緊急事態宣言を5月31日まで延長 ○5月1日 中小企業等家賃支援補助金申請受付開始（7月31日まで） ○5月8日～ 広報よこすか5月号号外配布（各種支援策） ・G-MISによるマスク等配布開始 ・5月25日 緊急事態宣言全国で解除 ○5月29日～ 広報よこすか6月号配布（施設再開等折込チラシ）	・5月7日 第1回協議会 ・5月14日 第2回協議会 ・5月15日 第3回協議会 ・5月22日 第4回協議会 ・5月28日 第5回協議会		・5月7日 コロナ協議会設置運営要綱決定 議員期末手当10%減額、視察・会派勉強会中止決定、招集議会日程短縮 ・5月14日 議員期末手当減額条例改正案議決 ・5月25日 コロナ協議会のインターネット中継を決定 6月定例議会の運営について、本会議及び委員会（部局別審査）は関係理事者のみの出席とし、一般質問と委員会所管事項の質問の中止を決定
R2年6月	○6月1日 市立学校再開 ・6月12日 第2次補正予算可決・成立 ○6月15日 よこすかプレミアム応援チケット販売開始 ・6月19日 都道府県をまたぐ移動自粛 全国で緩和	・6月2日 第6回協議会 ・6月9日 第7回協議会 ・6月23日 第8回協議会 ・6月24日 第9回協議会	・6月1日 8月のインターン受入れ中止 ・6月2日 横須賀市議会公式Twitter開始 ・6月25日 感染症の大規模流行を想定して横須賀市議会BCPを改訂 7月1日以降傍聴者の定員を1/3にして傍聴受付再開、議員登庁自粛解除、応接室での市民対応解除、市議会ギャラリー羅針の小径再開	6月臨時議会 6月定例議会
R2年7月	○7月3日～ 市民を対象としたコロナ抗体検査実施 ・7月10日 イベントの開催制限緩和（参加人数上限1000人→5000人など） ・7月22日 GoToトラベルキャンペーン開始	・7月8日 第10回協議会 ・7月20日 第11回協議会		
R2年8月	○8月7日 市内のコロナ累計陽性者数100名超 ○8月29日 市内のコロナ累計陽性者数200名超	・8月5日 第12回協議会 ・8月11日 第13回協議会 ・8月19日 第14回協議会	・8月21日 9月定例議会の運営について、本会議及び委員会（部局別審査）は関係理事者のみの出席とし、委員会所管事項の質問は部局別審査終了後、通告制での実施を決定 また、議場への飛沫拡散防止のアクリル板設置を決定	8月臨時議会
R2年9月	・9月15日 予備費からコロナ対応1兆6000億円余の支出を閣議決定	・9月8日 第15回協議会	・9月15日 コロナ感染又は疑いがある場合の会議欠席等解除の判断基準を決定	9月定例議会
R2年10月	○10月13日 市内のコロナ累計陽性者数300名超	・10月8日 第16回協議会		
R2年11月	○11月19日 市内のコロナ累計陽性者数400名超	・11月6日 第17回協議会 ・11月16日 第18回協議会 ・11月18日 市長に対し提言	・11月18日 12月定例議会の運営について、本会議及び委員会（部局別審査）は関係理事者のみの出席とし、委員会所管事項の質問は部局別審査の中で通告制で実施することを決定 令和3年度議会費予算削減を決定（副議長車廃止、視察旅費・政務活動費削減）	11月臨時議会
R2年12月	○12月7日 市内のコロナ累計陽性者数500名超 ○12月23日 市内のコロナ累計陽性者数700名超 ・12月28日 GoToトラベル停止 ○12月30日 市内のコロナ累計陽性者数900名超		・12月14日 委員会のオンライン開催を可能にするための委員会条例改正 ・12月22日 市議会ギャラリー羅針の小径休止	12月定例議会



確認・要望及びその回答

市議会の対応

団体意見聴取

確認・要望及びその回答

検証依頼及びその回答

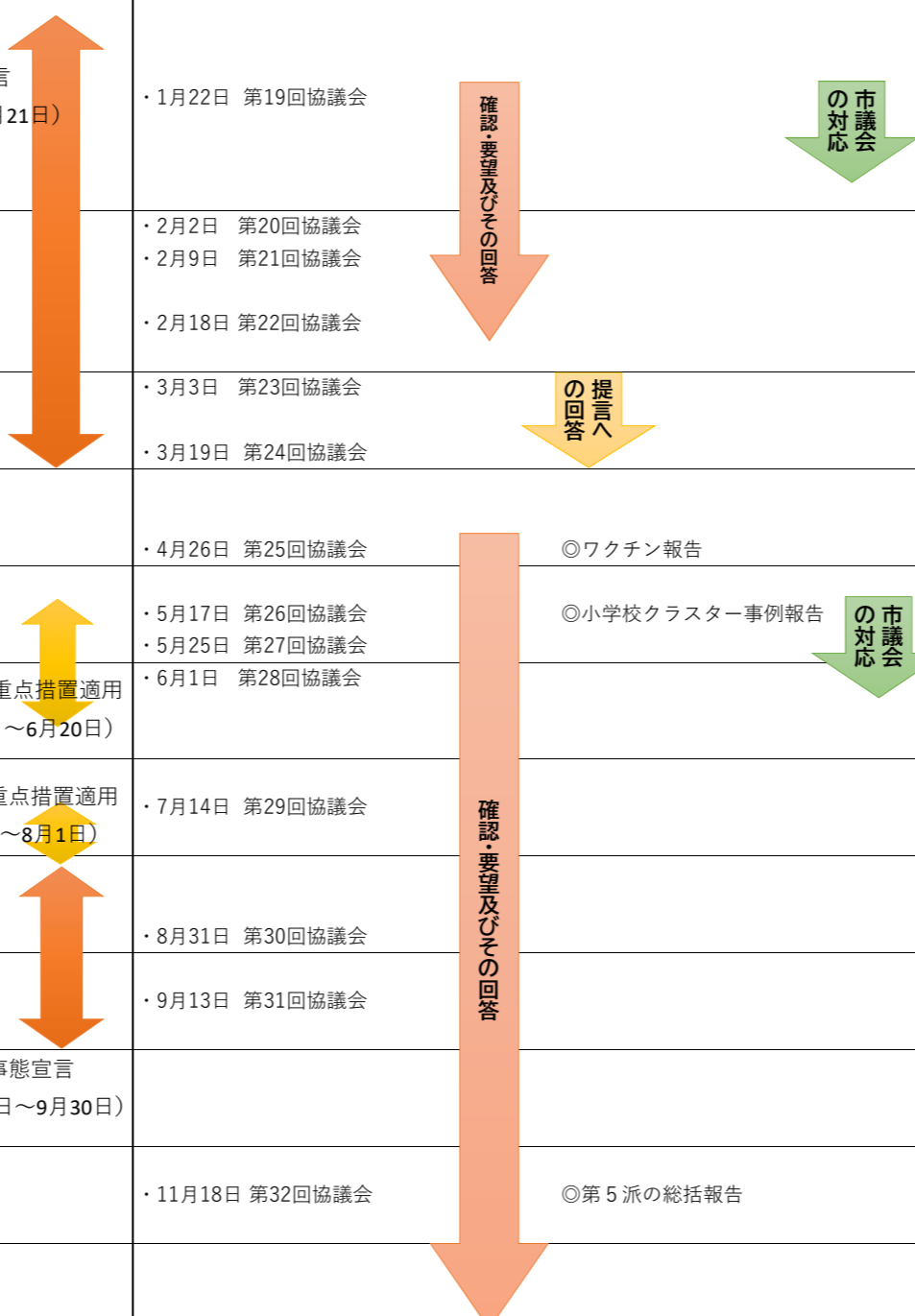
市議会の対応

市議会の対応

新型コロナウイルス感染症に関する対応経過

別表

年月	全国の状況・本市の状況	新型コロナウイルス感染症対策検討協議会（コロナ協議会）	市議会	議会日程	
R3年1月	<p>○1月5日 市内のコロナ累計陽性者数1,000名超</p> <p>・1月8日 1都3県2月7日まで緊急事態宣言</p> <p>・1月13日 緊急事態宣言7府県追加</p> <p>○1月20日 市内のコロナ累計陽性者数1,500名超</p> <p>緊急事態宣言 (R3年1月8日～3月21日)</p> <p>○1月28日 うわまち病院診療対象縮小(2月28日まで)</p>	<p>・1月22日 第19回協議会</p>	<p>・1月27日 3月定例会議の運営について、本会議及び委員会（部局別審査）は関係理事者のみの出席とし、委員会審査最終日も、部局間にまたがる質疑及び所管事項の質問を通告制として、部局別審査で行うことを決定 手話通訳者の配置場所を変更し、マウスシールドせず手話を行うことを決定</p>	1月臨時議会	
R3年2月	<p>・2月2日 10都府県3月7日まで緊急事態宣言延長</p> <p>○2月12日 学校開放事業児童のみ解除</p> <p>○2月24日～ 市役所1階でテイクアウト弁当販売(3月5日まで)</p> <p>・2月28日 6府県緊急事態宣言解除</p>	<p>・2月2日 第20回協議会</p> <p>・2月9日 第21回協議会</p> <p>・2月18日 第22回協議会</p>	<p>・2月22日 令和3年度議会報告会の4月開催見送り</p>	3月定例会議	
R3年3月	<p>○3月11日 市内のコロナ累計陽性者数2,000名超</p> <p>・3月21日 神奈川県緊急事態宣言解除</p>	<p>・3月3日 第23回協議会</p> <p>・3月19日 第24回協議会</p>		3月臨時議会	
R3年4月	<p>・4月20日 神奈川県（横浜・川崎・相模原）まん延防止重点措置適用</p>	<p>・4月26日 第25回協議会</p>	<p>◎ワクチン報告</p>	4月臨時議会	
R3年5月 第4波	<p>○5月10日～ 80歳以上ワクチン接種予約受付開始</p> <p>・5月12日 横須賀市まん延防止重点措置適用(6月20日まで)</p> <p>○5月25日～ 市役所1階でテイクアウト弁当販売(6月4日まで)</p> <p>○6月1日 ワクチン担当部設置</p> <p>まん延防止等重点措置適用 (R3年5月12日～6月20日)</p>	<p>・5月17日 第26回協議会</p> <p>・5月25日 第27回協議会</p> <p>・6月1日 第28回協議会</p>	<p>◎小学校クラスター事例報告</p>	<p>・5月17日 常任委員会視察中止決定</p> <p>・5月24日 6月定例会議以降の運営について、本会議及び委員会（部局別審査）は関係理事者のみの出席とし、委員会所管事項の質問は通告制とする。</p>	<p>招集議会</p> <p>5月臨時議会</p>
R3年6月				6月定例会議	
R3年7月	<p>・7月22日 横須賀市まん延防止重点措置適用(8月1日まで)</p> <p>○7月26日 市内のコロナ累計陽性者数3,000名超</p> <p>まん延防止等重点措置適用 (R3年7月22日～8月1日)</p>	<p>・7月14日 第29回協議会</p>		7月臨時議会	
R3年8月 第5波	<p>・8月2日 神奈川県緊急事態宣言発出(9月30日まで)</p> <p>○8月14日 一部の公共施設を休止(レベル1)</p> <p>○8月23日 新たに公共施設の休止を追加(レベル2)(10月1日全面再開)</p>	<p>・8月31日 第30回協議会</p>			
R3年9月		<p>・9月13日 第31回協議会</p>		9月定例会議	
R3年10月	<p>・1都3県リバウンド防止期間(10月25日まで)</p> <p>緊急事態宣言 (R3年8月2日～9月30日)</p>				
R3年11月		<p>・11月18日 第32回協議会</p>	<p>◎第5派の総括報告</p>		
R3年12月	<p>○12月16日 子育て世帯への臨時特別給付金(プッシュ型)当初5万円給付</p> <p>○12月28日 子育て世帯への臨時特別給付金(プッシュ型)追加5万円給付</p>		<p>・1月5日 行政視察受入れ再開</p>	<p>12月定例会議</p> <p>12月臨時議会</p>	



新型コロナウイルス感染症に関する対応経過

別表

年月	全国の状況・本市の状況	新型コロナウイルス感染症対策検討協議会（コロナ協議会）	市議会	議会日程
R4年1月	○1月14日～ 65歳以上（2回目6月接種）3回目ワクチン接種券発送・予約受付開始 ・1月21日 横須賀市まん延防止重点措置適用（3月21日まで）		・1月18日 議員登庁自粛要請・市議会ギャラリー羅針の小径公開休止	1月臨時議会
R4年2月 第6波		・2月9日 第33回協議会 ・2月22日 第34回協議会	◎第6派の傾向分析報告 ◎市立学校感染状況報告	3月定例議会
R4年3月	まん延防止等重点措置適用 (R3年1月21日～3月21日)		・3月24日 議員登庁自粛解除・市議会ギャラリー羅針の小径公開再開	
R4年4月				招集議会
R4年5月	○5月26日～ 4回目ワクチン接種券発送・予約受付開始（R4年1月までに接種）	・5月31日 第35回協議会		6月定例議会
R4年6月				
R4年7月			・7月28日 8月初旬のインターン受入れ延期	
R4年8月 第7波	・8月2日 神奈川県BA.5対策強化宣言適用（8月31日まで） 神奈川県BA.5対策強化宣言 (R4年8月2日～8月31日)	・8月5日 第36回協議会 ・8月18日 第37回協議会	◎第7派の現状・医療ひっ迫対策報告	・8月18日 今後のウィズコロナに向けた議会運営の在り方及び感染拡大時の議会運営方法について、議会運営委員会で検討する旨、コロナ協議会委員長から議長へ申し入れることを決定 ・8月26日 今後のウィズコロナに向けた議会運営の在り方及び感染拡大時の議会運営方法について、議会運営委員会で審査し、詳細な検討は議会制度検討会議に委ねることを決定
R4年9月	・9月26日 コロナ陽性者全数届出見直し ○9月26日～ オミクロン株対応ワクチン接種開始			9月定例議会
R4年10月	・10月11日 全国旅行支援開始			
R4年11月		・11月1日 第38回協議会		11月臨時議会
R4年12月		・12月1日 第39回協議会	・11月28日 今後のコロナ収束後の議会運営の在り方について、出席理事者、部局別審査、所管質問通告制等、議会制度検討会議検討結果のとおりとすることを決定	12月定例議会

確認・要望及びその回答

市議会の対応

市議会の対応